

教育目標『夢と潤いのある学校』



夢と潤い

令和5年度
学校だより 第12号

旭川市立広陵中学校
令和6年3月25日

発行責任者 校長 千葉 雅樹

第40回卒業証書授与式

校長 千葉 雅樹

3月15日(金)、第40回卒業証書授与式が行われました。

131名の子どもたちが9年間の義務教育を終え、本校を巣立っていきました。

思い起こせば、旭川市におけるコロナ陽性者が過去最高の800人以上を記録したのは、彼らが2年生の夏から秋にかけてのできごとでした。また、熱中症、WBGTと言われる暑さ指数も大きな話題となり、その渦中で学校生活を過ごしてきました。

そのため、子どもたちは様々な活動で延期、縮小、中止などの影響を受けてきました。しかし、いつも『今自分たちができることは何だろう!』と常に考え、様々なアイデアを出し、前向きに行動してきたように思います。そんなすごい子どもたちでした。

この経験は、必ず子どもたちの生きる力になることでしょう。以下は、卒業式のときに最後に子どもたちに贈った言葉の一部です。(卒業生の今後の活躍を祈ります…)

私から君たちに、最後にひとつだけ……。

「わくわく、どきどき」を大切にしよう!

今、社会は大きく変わろうとしています。AI化が劇的に加速し、私たちの仕事の多くが奪われるだろうと予想する学者もいます。また、地球温暖化ではなく、地球沸騰化であると語る人もいます。でも、一方では、自動車が空を飛び、宇宙旅行ができる時代がもうすぐ来るかもしれません。

人間の生きる力の源は、「わくわく、どきどき」です。君たちの未来は、希望に満ちあふれています。多くの夢や希望を抱いたまま突然のお別れとなってしまった半田陽和さんの分まで、「自分ならやれる、きつとうまくいく」と信じ、自分のやりたいことを見つけ、挑戦してください。

「親の仕事を継ぐために、設備会社に就職したい」「海外で仕事がしたい」「ウェディングプランナーになりたい」「介護ロボットを作りたい」「世の中の人をサイバー攻撃から守るためのエンジニアになりたい」「看護師になりたい」「保育士になりたい」そして、「学校の先生になりたい」……。

これらは君たちが私に語ってくれた将来の夢や希望です。

この挑戦を楽しまない手はありません。**どんなことにも「わくわく、どきどき」してください。**

君たちには、この3年間で培ってきた「知恵と勇気と優しさ」があります。それは、**直面した課題を仲間と協力して乗り越えていく知恵、自ら進んで一歩前へ進もうとする勇気、そして、仲間を思いやり協力する優しさ**です。

これさえあれば、君たちならできる、きつとうまくいく……略



3月25日(月)をもちまして、広陵中学校の令和5年度の教育活動はすべて終了いたしました。この1年間、地域・保護者の皆様にはいつも温かい眼差しで子どもたちを見守ってください。本当にありがとうございました。また、令和6年度も本校の子どもたちをどうかよろしくお願いいたします。また、皆様にお会いできる日を楽しみにしています……。



地域の方々へお知らせとお願い

気温の上昇とともに雪解けも進み、屋外で活動する生徒が増えてきています。「人の敷地内で遊んでいる」「車道を広がって歩いている」「公園での遊び方が悪い」など、地域の方からご連絡いただくこともあります。学校でも指導を繰り返しているところですが、気になることがございましたら学校までご連絡いただきますようお願いいたします。